

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	内科学講座消化器内科学分野(佐倉)
別タイトル	Introduction: Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, Toho University Sakura Medical Center
作成者(著者)	松岡,克善
公開者	東邦大学医学会
発行日	2021.12.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 68(4). p.178 179.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	教室(診療科)紹介
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2021 023
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD34452572

教室(診療科)紹介(127)

内科学講座消化器内科学分野 (佐倉)

内科学講座消化器内科学分野 (佐倉)

教授：松岡克善

講師：高田伸夫

山田哲弘 (医局長)

内科医局長：中村健太郎

講座の概要

佐倉病院の消化器内科は、2003年に前任教授の鈴木康夫先生が千葉大学より佐倉病院に着任され、消化器病センターが発足したことから始まります。2018年に鈴木康夫先生が退任し、松岡克善が教授に就任しました。

診療

佐倉病院消化器内科は、地域の中核病院としての common diseases の一般診療と、大学病院としての高度専門医療の提供の両立を目指しています。また、内科と外科の連携に力を入れているのも佐倉病院消化器センターの特徴です。病棟を内科と外科で共有しており、内科的治療から手術へとシームレスに移行することができます。毎週木曜日に内科・外科合同の症例カンファレンス、月に1回内科・外科・病理合同で手術症例の検討会を開催しています。

内視鏡は消化器センターの重要な業務のひとつであり、上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡ともに年間3000件前後の検査を行っています。さらに大腸腫瘍や胆膵疾患の増加に伴い、大腸内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) や内視鏡超音波検査といった高度な内視鏡処置も本格的に開始しています。

当科の重要な柱として、潰瘍性大腸炎とクローン病を中心とした炎症性腸疾患診療があります。現在、約1000名の患者さんの診療にあたっており、全国でも有数の炎症性腸疾患センターです。近年、炎症性腸疾患の治療には、新しい数多くの分子標的薬が登場してきています。当科ではこれらの新しい分子標的薬を積極的に導入し、個々の患者さんに合わせた最適な治療を提供しています。



教室員

教 育

卒前教育として、医学部4年生の見学型実習、5年生の診療参加型実習、6年生の選択実習と、多くの医学部学生を受け入れています。卒業教育では、初期研修、内科後期研修、消化器専門医、消化器内視鏡専門医と、あらゆるステージの教育を行っています。さらに、消化器内科医として、専門技術を習得するために院外の施設での研修も積極的に推奨しています。これまでに、胆膵内視鏡、腸管エコー、内視鏡治療など院外で研修を積んできています。また、大学院生の研究指導も行っています。

研 究

医学研究を行い、医学の進歩に貢献していくのは大学病院としての責務と考えています。当科では、主に炎症性腸疾患の臨床研究を実施しています。約2000名の潰瘍性大腸炎患者さんを、QOLを中心とした患者報告型アウトカムを前向きに収集しながら、4年間経過観察する研究や、約700名の新規発症クローン病患者さんを対象に6年間にわたっ

て治療内容や予後を追跡する研究、新規薬剤の全国レジストリなど、数多くの全国規模の多施設共同研究の研究代表施設を務めています。これらの研究の結果は、世界の炎症性腸疾患診療に大きなインパクトを与えることが期待されています。また、当科は数多くの国際共同治験を実施するとともに、松岡はグローバル企業の治験アドバイザーとして多くの国際共同治験の企画・運営に携わっています。

最後に

当科は若手の医師が多く、やる気と活気に溢れています。若い医局員が自由に自分のやりたいことにチャレンジできる環境を提供していきたいと考えています。情熱を持って仕事ができる仲間を大募集中です。ぜひ、一緒に患者さんのために頑張りましょう。

<https://www.lab.toho-u.ac.jp/med/sakura/gastroenterology/>

<https://www.lab.toho-u.ac.jp/med/sakura/pv/gastroenterology/>

(松岡克善)

DOI : 10.14994/tohoigaku.2021-023